

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪いずみ市民生活協同組合(仮称)	階数	地上1F
建設地	大阪府岸和田市北町18-1	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分VI	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年8月19日
敷地面積	19,401 m ²	作成者	東畑建築事務所 立松裕規
建築面積	7,239 m ²	確認日	2014年8月19日
延床面積	7,054 m ²	確認者	東畑建築事務所 岡島博明



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 73%

③上記+②以外の 73%

④上記+ 73%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	法令の遵守はもちろん、敷地周辺の配慮を設計へ可能な範囲で盛り込んでいる。	その他 0
Q1 室内環境	化学物質を放散する建築材料等は全てF☆☆☆☆を採用し、建築基準法を満たしている。また、喫煙室を売場やテナントと分離した場所に設けている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周辺には緑地帯を、建物前面にはピロティを設けるなど人々が滞留しやすい場所を創出している。
LR1 エネルギー	高効率な機器を採用し、熱負荷削減に努めている。	LR3 敷地外環境 騒音、臭いに配慮した設備機器の配置を心がけ、必要に応じて防音壁を採用している。また、入庫待ちによる渋滞等が発生しないよう、駐車台数を基準よりも多く確保している。
Q2 サービス性能	売場天井高は十分な高さを確保している。	
LR2 資源・マテリアル	自動水洗、節水型大便器の採用をしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	大阪いずみ市民生活協同組合(仮称)岸和田店		
	建設地	大阪府岸和田市北町18-1		
	用途/区分	物販店		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 1.0	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.3	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				